

令和元年11月15日  
(2019年)

保護者の皆様

吹田市立山田中学校  
校長 酒井 睦美

## 令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について

本年度、4月に3年生を対象として「平成31年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、今年度は、国語、数学に加え、理科の3教科で実施されました。調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善を図ってまいります。

各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の参考にしていただきますようお願いいたします。

### 1 教科に関する調査結果の分析

#### 【 国 語 】

##### 《概要》

出題された10問に対し、全ての問題で平均正答率は大阪府及び全国値を上回っている。特に「読むこと」に関しては、全国的にも平均の高い問題があるものの、その全国平均を大きく上回っている。

従来の区分である「知識」に関する問題、「知識の活用」に関する問題ともに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化」の全領域において全国値を上回っている。

##### 《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

##### 話すこと・聞くこと

・「話し合いの話題や方向をとらえる」ことは、全国値を上回っているが、「相手に分かりやすく伝わる表現について理解する」は、全国平均正答率との差が少なく課題として挙げられる。

##### 書くこと

・「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」ことは、全国値を上回っている。

##### 読むこと

・「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」ことは、全国値を大きく上回っている。

##### 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

・「語の一部を省いた表現について、語の文章の中での適切な活用の仕方を理解する」ことは、全国値を上回っている。

・「封筒の書き方を理解して書く」ことは、毎年、日本郵便株式会社よりテキストを提供して頂き、学習は重ねているが定着には達していないのが数値より伺える。

## 《国語科における成果と今後の改善点について》

今回の調査結果から、生徒の日常の学習成果と努力を確認することができる。「主体的・対話的な学び」を取り入れ、今後もグループワーク等を取り入れた《話し合い活動》や《自分の考えを、伝え方を工夫しながら発表できる取り組み》を継続して進めていく必要がある。グループワークを取り入れた授業や発表等をさらに発展させて、生徒の力となるよう努めていきたい。

課題としての「封筒の書き方を理解して書く」ことは、国語の授業以外（総合学習など、お礼状を書く機会）でも触れることができるので、手紙を書く機会を増やし、定着に努めていきたい。

- ・「国語の授業の内容はよくわかりますか」については、全国値を上回っている。
- ・「国語の書く問題では最後まで解答を書こうと努力した」については、全国値を上回っている。

## 【 数 学 】

### 《概要》

平均正答率はどの領域も全国値を上回っている。特に「関数」に関しては、全国値を大きく上回っている。また、評価の観点のどの項目も全国値を上回っている。特に「数学的な見方や考え方」に関しては、全国値を大きく上回っている。

### 《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

#### 数と式

- ・「簡単な連立二元一次方程式を解くことができる」ことは、全国値を大きく上回っている。
- ・「与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる」ことは、全国値を大きく上回っている。
- ・「事柄が成り立つ理由を説明する」ことは、全国値を大きく上回っている。

#### 図形

- ・「結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる」ことは、全国値を大きく上回っている。
- ・「証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している」ことは、全国値を大きく上回っている。
- ・「平行移動の意味を理解している」ことについては、やや課題がある。

#### 関数

- ・「グラフ上の点 P の y 座標と点 Q の y 座標の差を、事象に則して解釈することができる」ことは、全国値を大きく上回っている。
- ・「反比例の表から、x と y の関係を式で表すことができる」ことについては、やや課題がある。
- ・「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」ことについても、やや課題がある。

#### 資料の活用

- ・「資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる」ことについては、全国値を大きく上回っている。
- ・「資料の傾向を的確にとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」ことについては、やや課題がある
- ・「問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる」全国値を大きく上回っている。

## 《数学科における成果と今後の改善点について》

今回の調査結果から、習熟度別指導を含む、少人数指導等の成果がみられ、特に「計算力」に関しては、学習の成果が現れている。しかし、「資料の活用」について、やや課題がある。「資料の傾向を的確にとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」ことについては、多くの生徒がつまずきやすい部分ではあり、全国平均と同様に無回答率も高い。今後も少人数指導の特性をいかしつつ授業の中で、事象を目的に応じて数値化して判断する場面を設定する等の機会を増やす必要がある。

- ・「数学の授業の内容はよくわかりますか」については、全国値を上回っている。
- ・「数学の書く問題では最後まで解答を書こうと努力した」については、全国値を上回っている。

## 【 英 語 】

### 《概要》

ほとんどの問題において、平均正答率は大阪府及び全国値を上回っている。特に「書くこと」に関しては、全国平均を大きく上回っている。

#### ◎リスニング問題（「理解」に関する問題）

「聞くこと」に関する問題で知識に関する問題の平均正答率は大阪府および全国値を上回っている。しかし、いくつかの問いでは全国平均を下回るものも見られた。

#### ◎話すことに関する問題（「知識」「知識の活用」に関する問題）

話すことに関する問題で平均正答率は全国値を大きく上回っている。だが、無解答率において全国平均を上回る問題も見られた。

「伝統的な言語文化」の領域は全国値とほぼ同じであった。

### 《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

#### 聞くこと

- ・「まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる」「聞いて把握した内容について適切に応じることができる」以外は全国値を上回っている。

#### 書くこと

- ・「与えられた情報に基づいて文法事項を適切に答えることができる」は、全国値を大きく上回っている。


#### 読むこと

- ・「まとまりのある文章を読んで話のあらすじを理解することができる」および「話の大切な部分を理解することができる」ことは、全国値を上回っている。

#### 話すこと

- ・「月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる」は、全国値を大きく上回っている。
- ・「基本的な文法を理解して、応答することができる」ことは、全国値を上回っている。
- ・「適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる」ことは、全国値を大きく上回っている。
- ・「聞いて把握した内容について、やり取りすることができる」ことは、全国値を上回っている。
- ・「与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる」ことは全国値を上回っている。

### 《英語科における成果と今後の改善点について》



今回の調査結果から、生徒の日常の学習成果と努力を確認することができる。多くの問題において、全国平均を大きく上回っており、本教科に対する意識の高さが表れている。一方で唯一「聞くこと」に関して全国平均を下回っているものも見られた。このため普段の授業から積極的に「聞くこと」に関するものを取り入れていく必要がある。

「話すこと」に関して全国平均を大きく上回っていることから普段の授業からペアワークやグループワークを行っている成果が見られた。引き続き行っていきたい。

- ・「英語の勉強は好きですか」については、全国値を上回っている。
- ・「英語の勉強は大切だと思いますが」については、全国値を上回っている。
- ・「英語の授業はよくわかりますか」については、全国値を上回っている。

## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

### 山中生の輝き1

# 規則正しい生活をし、計画的に学習できる子ども

規則正しい家庭生活を過ごし、学校の授業以外の家庭学習にも意欲的に取り組んでいることが伺える。家庭での落ち着きが学校生活での落ち着きにつながっている。

しかし、「読書を全くしない」「新聞を全く読まない」と回答した生徒の割合が全国値と比べ高くなっており、課題となっている。インターネットから得られる情報だけでなく、本や新聞から得られる知識、情報についても大切であることを伝えていく。

- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」については、全国値を上回っている。
- ・「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」については、全国値を上回っている。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強していますか」については、全国値を上回っている。
- ・「学校の授業以外に、普段勉強している」については、全国値を上回っている。

### 山中生の輝き2

# 楽しく学校生活を過ごし、部活動がんばる子ども

多くの生徒が充実した学校生活を過ごしており、部活動にも積極的に取り組んでいることが伺える。「学校の規則を守っていますか」についても、「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国値と比べ高く、規範意識の高さが伺える。

しかし、「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」については、「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国値よりやや低くなっている。今後は、学校行事等の取り組みを通して、周りの人と協力したり、いじめに向かわない心の醸成に努めていく。

- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」については、全国値を上回っている。
- ・「学校の部活動に参加していますか」については、全国値を上回っている。

### 山中生の輝き3

# 学習した英語をいかし、国際社会に羽ばたこうとする子ども

多くの生徒が英語の勉強を大切だと感じ、英語の授業で学んだことが、将来、社会に出たときに役立つと考えている。

2年生のときの校外学習では、京都で英語を使ったインタビューをしたり、授業以外で英語を使う活動を行った。今後も授業でスピーチ活動を取り入れるなど、英語活動の充実に向けていく。

- ・「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いませんか」については、全国値を上回っている。
- ・「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業についたりしたいと思いますか」については、全国値を上回っている。
- ・「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役立つと思いませんか」については、全国値を上回っている。
- ・「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか」については、全国値を上回っている。
- ・「1, 2年生の時に受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いませんか」については、全国値を上回っている。